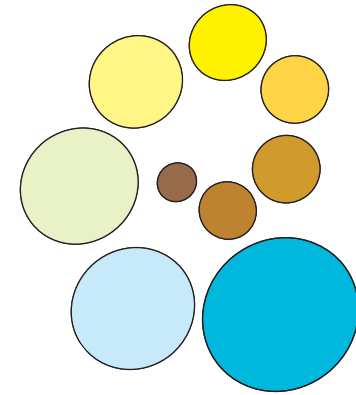


〔新〕 合流改善クイックプラン

～快適な水辺空間をめざして～



 東京都下水道局

ま え が き

東京都区部では、主に合流式下水道システムを採用しています。これは、汚水対策と同時に雨水排除対策が必要とされる中で、狭隘な道路が多く、汚水と雨水の2本の管きよの早急な布設が困難であることなどの理由によるものです。

トイレの水洗化などによる生活環境の改善と速やかに雨水を排除することとを同時に達成できる合流式下水道ですが、降雨量が多い場合には、雨水で希釈された汚水の一部が水再生センターに流入する前に雨水吐口から河川などに越流し、公共用水域における水質汚濁の一因となっています。

下水道局では、このような課題に対応するために、しゃ集管きよの増強と貯留池の整備を内容とする合流改善事業を進めてきました。しかし、これらの施設の完成までには、長い年月と多大な費用が必要になります。

こうした中で、平成12年には、雨の日に合流式下水道から河川や海へ流出したオイルボール（白色固形物）がお台場に漂着し、社会的な環境問題として取り上げられたことなどもあり、対策や対策地区を重点化し、短期間に事業効果を実感できる「合流改善クイックプラン」を平成13年3月に策定しました。

今回、このクイックプランの効果を検証し、「新・合流改善クイックプラン」として改定、充実することとしました。新クイックプランでは、お客さまの水質改善要望の強い地区を新たにモデル地区に設定するとともに、既存施設を活用した貯留池の整備や再開発地区における部分分流の導入などの新たな対策も盛り込むなど、これまで以上に効果的な対策を実施することとしています。

今後とも、お客さまや関係機関との連携をより深め、新・合流改善クイックプランを着実に実施することにより、快適な水辺空間の創出に取り組んでいきます。

目次

第1章 新クイックプランの概要	1
1 基本方針	2
2 改定のポイント	4
3 計画期間	7
4 計画事業費	7
第2章 現状と課題	9
1 合流式下水道の現状	10
2 これまでの取組	12
3 合流改善を取り巻く新たな課題	16
4 これまでのクイックプランの進捗状況と効果	19
5 合流改善の課題のまとめ	23
第3章 事業内容	25
1 お客さまに水質改善効果が見えるモデル地区の設定	27
2 下水道に入れない対策	31
3 下水道にためない対策	33
4 下水道から出さない対策	36
第4章 事業の効果的な推進に向けて	41
1 お客さまへの協力依頼や民間・関係機関との連携	42
2 雨の日の水質調査結果の公表と活用	44
3 技術開発の推進	45

※ 本文中、「合流改善クイックプラン」及び「これまでのクイックプラン」は平成12年度に策定したクイックプランを指す。

「新クイックプラン」及び「新・合流改善クイックプラン」は、今回策定したクイックプランを指す。